

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030084

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	3	水産業の振興	事業優先度	A		
単位施策	1	水産資源の保護・増大	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	海岸漂着物等処理事業		見直し年度			
事業期間	平成28年度～平成29年度		担当課	9	産業振興課	
事業主体	町		関係課	4	住民生活課	
事業指標	流木処理		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
事業目標	流木処理 一式		関係例規・法令名			
住民参加	有	漁業者等によるの流木の一時集積	関係個別計画名			
住民協働						

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	例年、台風時期に河川等からの流木が沖に流れ、サケ定置網漁等への甚大な被害を及ぼす危険性があることから、漁業者等が一時堆積した流木の処理を行う。 ・事業費(400千円/1年) ・海岸漂着物地域対策推進事業の活用を要望(8/10が補助対象 補助残の8割が特交措置)				海岸漂着物等処理業務委託(一時堆積流木運搬・処理) 事業費 400千円	海岸漂着物等処理業務委託(一時堆積流木運搬・処理) 事業費 400千円	
	事業費(千円)	800	0	0	0	400	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	640			320	320	
	地方債	0					
	その他	0					
実 績 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】				海岸漂着物等処理業務委託 一時堆積流木運搬・処理(15t)		
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続(継続有り)	年度目標値				流木処理 一式	流木処理 一式
	第6期計画への継続(継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	0%
		全体達成率	0%	0%	0%	50%	50%
	事業進捗状況						

事業名	海岸漂着物等処理事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	高田 勉

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	海岸漂着物等処理	
【抱える課題やニーズは】	台風時期の河川等からの流木が沖に流れることにより、サケ定置網漁等へ被害を与えている。	①	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	漁港内へ一時堆積した流木の定期的な運搬・廃棄処理		目標年度	平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	漁業の安全操業及び安定経営が図られる。	②	目標値	1式
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	処理業者への委託料の支出		実績値	1式
			達成度	100.0%
			目標年度	年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
	漁港内に一時堆積した流木等の適切な運搬・廃棄処理			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本町の主要魚種であるさけ漁業等の安定操業は、地域経済の活性化に直結することから、必要な事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	計画どおりに実施し、港内の一時堆積した流木等が適切に運搬・処理された。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	コストに見合った成果が得られていることから、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	漁業者への被害を防げたことから、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
適切な流木等の処理により、港内の安全性・狭隘性が改善された。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も定期的な処理を行い、港内の安全性及び安定操業を図るために継続する。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止